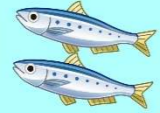


いわしの手開き



5歳児さんが『いわしの手開き』に挑戦しました

前回



写真とぬいぐるみを使って、手開きの仕方を学びました!



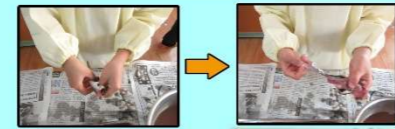
いわしの手開きスタート!



1. まずは頭と内蔵を取ります



2. お腹から指を入れて中骨を取ります



食育通信



3. 開いてできあがりミンチにしてじゃこ天にします



おやつ時間

5歳児さんには頑張ったご褒美に魚せんべいも!

～寄付者御芳名～

- 吉田 全孝 大石 武子
- 山口 美鶴 小濱 リツ
- 神田 善弘 日本バプテスト大阪教会

●在園児保護者 10名 (プライバシー保護の観点よりご芳名の記載は割愛させていただきます。) (敬称略)

合計 88,000 円の御寄付がございました。心より感謝申し上げます。(2025年12月14日～2026年5月18日)

≪郵便振込≫ 口座名：社会福祉法人しんもり福祉会
口座番号：00970-4-319586

(3,000円以上の場合は、寄付金控除の手続きもさせていただきますので、振込の際に、【住所】【氏名】【TEL】の記載をお願い致します)

≪社会福祉法人しんもり福祉会≫ 理事長 松野 五郎

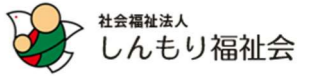
平和の子保育園・子育て支援センター
〒535-0022
大阪市旭区新森 7-1-5
TEL:06-6954-0524

大阪市立両国保育所
〒535-0021
大阪市旭区清水 4-6-15
TEL:06-6951-3083

平和の子どもの家
(本園) 〒535-0022
大阪市旭区新森 7-1-5
TEL:06-6954-0524



しんもり通信



「平和の子保育園と中津学園と大地協」について

社会福祉法人しんもり評議員 河崎洋充 (社会福祉法人 光徳寺善隣館 史料室長)

大阪市北区中津に光徳寺という浄土真宗本願寺派のお寺があります。その第15世住職の佐伯祐正は、昭和の初めに中津地区の貧困層のために、セツルメント運動を推進した社会福祉の先駆者です。

祐正は、住職を務めながら、天神橋筋六丁目にあった「大阪市立北市民館」の初代館長・志賀志那人の下で学んでいます。その後、パリ在住の弟・祐三一家を迎えがてら、1年余りにわたって欧米のスラム街を視察し、ロンドンのトインビーホールでは、1カ月半も住み込んでいます。

帰国後、お寺を開放して、図書室、保育所、母子寮等而建てます。主婦には、内職の斡旋を、女子工員には裁縫を、少年達には靴磨きを教え、大阪駅前前で実働させています。

当時大阪市は、公害による呼吸器系の患者が増加していました。そこで、豊中の刀根山にカントリーハウスを建設し、青少年の野外活動を奨励し、健康増進を図っています。

しかし、1945年6月の第2次大阪大空襲で光徳寺が全焼し、祐正も負傷し、9月に49歳で亡くなります。

戦後は、妻の千代子が保育所を開設し、戦災孤児や戦争未亡人の支援を行っています。1971年には、祐正の長男・祐元が、知的障がい児の生活支援施設「中津学園」を設立しました。

今回の園舎建替えにあたり、門前に祐三生誕碑を移築し、園庭には、祐三の絵看板を飾りました。ご覧いただければ、幸いです。「平和の子保育園」他45施設が、会員として活動している「大阪市地域福祉施設協議会(大地協)」は、祐正たちのセツルメント運動の系譜を引き継いで、70年になる歴史ある職能団体のことです。

平和の子どもの家

生涯スポーツのけん玉

平和の子どもの家では30年以上前から『けん玉クラブ』活動を続けてきました。日本けん玉協会は競技用のけん玉を作って、公平に段・級の認定ができるようにして、けん玉をスポーツとして普及している団体ですが、平和の子ではかなり昔の時代からこの認定を取り入れてきました。日本けん玉協会の普及用ビデオ「めざせけん玉日本一」を教材にして、指導員仲間が勤務後に集まって特訓。全員が有段者となり、各施設にけん玉ブームを起こしたことが懐かしく思い出されます。

平和の子どもの家は1～3年生の低学年のみの施設ですが、けん玉の『もしかめ』という連続技の記録には目を見張るものがあります。最高記録は2000回を超え、9割近い子どもたちが100回連続を楽々クリア!集中力には驚くばかりです。江戸時代から楽しまれてきた伝承遊びの一つであるけん玉をスポーツとして、また気軽なあそびとしてこれからも楽しみたいと思います。



副施設長(けん玉初段) 谷川 勝敏